

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の 共通理解と 全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】園児の個性に応じた遊びや玩具を取り入れるようにしている。			
	【課題・対策】子どもにとって全体的な計画や指導計画が最善の利益に基づいている計画になっているかを全クラスで話し合っていく。			
子どもの発達や 状況に応じた 適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園時に入園面談を実施し担任が把握する。重要事項の内容は読み合わせで把握する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コードモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担任が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・慣らし保育の際には子どもの視点で進めていけるよう、計画をベースに考えつつも日々の姿を重視して進めていく。 ・個々の発達状況や園目標に合わせて安心した園生活が送れるように配慮している。 ・担任だけでなく職員全員で共有し把握できるようにしている。			
【課題・対策】 入園前の面談について施設長以外に同席する事は職員の体制的に難しさがあつた。そのため年度末や年度始めの会議を利用していきたい。				
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	A	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・玄関、階段、手すりなど新しく清潔で安全な環境に整えていった。			
【課題・対策】				
一人一人の子どもに 個別に対応する 努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A	0~2歳児は一人ひとりの状況に応じた個人別の月案を作成している。
	10	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコードモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・必要に応じて園児の通院記録表を個別に作成し経過などについて家族と連携を図り漏れの内容に工夫していた。			
【課題・対策】				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもがわかるよう対応をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・両親の様子を含めて情報収集をし子どもへの影響を最小限にしている。			
	【課題・対策】			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
【課題・対策】 時間帯によって職員の確保が課題となっている。全職員の能力の向上を目指し、スキルの差を無くしていく。				
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしにくい場所になるよう環境面の工夫をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・実際に料理に使用した野菜を少しずつトレイに乗せて子ども達の目に触れられるようにしていく。				
【課題・対策】				

項目	番号	内容	評価	実施していること
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】			
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・独自のマニュアルを適宜更新している。マニュアルの下にQRコードを貼り付けて確認しやすくしている。			
	【課題・対策】 ・嘔吐処理の用具に手順通り番号を振って突然の際の対応のしやすさに工夫している。			
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており在園児の保護者のみにカードキーを付与している。インターフォンや防犯カメラも利用し、外部からの侵入に意識を向けている。不審者対策については日々、話し合っている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語は絶対に使用しない。子どもへの呼び方は男女関わらず「さん、付け呼んでいる。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	B	全員にさん付けで名前を呼ぶなど性差への意識が高い園である。一方でニックネームで名前を呼んでしまうなどの矛盾もみられた。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 個人マークなどは男女に関わらず平等な印象を与えるものになっている。			
【課題・対策】 名前の呼び方などのルールは会議でハンドブックなどを利用して読み合わせをするなどして、意識の統一を図る。				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 体調や子どもの様子に変化がみられた場合はこまめに保護者に連絡をし、連携をとっている。			
【課題・対策】 ・他クラスの保護者の情報も職員間で共有している。				

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	B	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようになっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 園に通うイメージを共有したり園内の見学・説明を行うことで園の特徴や方針への理解へと促す。			
	【課題・対策】 ・今年度は夏祭りの地域向けの開催はなし。 ・これまで以上にイベントの回数を増やし内容の充実をさせていく。			
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	海外など遠方にお住まいの方への柔軟な対応。ZOOMでの見学会の導入
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 地域向けのイベントを行った。			
【課題・対策】 ・感染症対策に配慮しながら今後も続けていく。				
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	B	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
	【課題・対策】 問い合わせなどの受け入れの機会がある場合は条件が満たせるように積極的に対応していく。			
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	今年度は職員から研修として必要な内容を募って数回にわたり職員が講師となる研修を行った。そうすることにより、これまで法人が推奨していた研修にも理解が深まり、良い機会となった。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】			
【課題・対策】 経験豊富なベテラン職員が会議・研修では中心になりがちであるが、中堅層を前に出していき園運営の新規開拓を試みているところである。				
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 面談シート等を使用して自身の目標や課題について月1回は振り返る機会を作っている。			
【課題・対策】 効率的に業務を行えるように「見える化」や「ToDoリスト」を取り入れて職員の情報共有を解かりやすくしていく。				
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園内会議や職員研修の中で共有し時にチェックシート等を使用して個々や全体で振り返りをする。			
	【課題・対策】			

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対する反省・課題 (事業報告書へ)		園目標は前年度で達成できなかった事を含んだ内容であることから職員にとっては二年目としてしっかりと浸透していたようである。保育力では既に高いスキルを持っている職員が次なる目標として自分たちで掲げたのは計画的に業務を行うこと。こちらに関しては施設長の課題でもあったが、施設長としても園全体としても達成できず、次年度に向けてしっかりと解決していきたい重要課題となった。新体制になってもっとも課題点と施設長が感じていた職員の会話力に関しても二年越しの目標となったがこちらに関しては園内研修で取り入れたことで合言葉のようにスタッフ間で意識を持ち続ける成果をもたらした。次年度に向けては引き続き地域から選ばれる園であるためにできること。不動前園らしい独自の魅力を追及しつつ職員全体で意識を整えていきたい。		